

大学院特別講義

医歯学先端研究特論・生命理工医療科学先端研究特論・医歯理工学先端研究特論

基礎研究から応用研究における医工連携の経験 ～不整脈研究と手術支援研究を例に～



■ 講師： 佐久間 一郎 先生

東京電機大学 研究推進社会連携センター 総合研究所 特別専任教授

東京大学 特命教授室 特任教授

(前・東京大学 副学長 (産学協創推進, 医工学イノベーション担当) 東京大学 大学院工学系研究科 教授)

■ 日時： 2025年11月4日 (火) 18:00-20:00

■ 場所： M&Dタワー 2F 共用講義室2

■ 言語： 日本語

■ 要旨

生体医工学・医用工学は一般には新規な診断・治療用の医療機器・医療技術を開発するといったその応用面に着目されることが多い。この応用面に加えて従来困難であった生体现象の定量的で再現性のある計測手法や介入手法を工学技術で実現することで、基礎的な医学研究の推進にも貢献することができる。講義ではこのような視点から自ら行ってきた不整脈研究と手術支援研究例を紹介し、医工連携の重要性について考察する。

受講申込はこちら (締切:2025年11月3日)



<https://forms.gle/LYkwX4Z8wQAqv8Pm9>

お問い合わせ：

脳神経外科 清水一秀 shimizu.nsrg@tmd.ac.jp

主催：脳神経機能外科学分野 教授 前原健寿